

Article Galaxy / Article Galaxy Scholar (AGS)

ードキュメントデリバリープラットフォームのご紹介ー

井手孝次郎
ユサコ株式会社

米国を拠点に 2006 年に設立された Research Solutions 社は、ドキュメントデリバリーを核に、学術コンテンツの検索、取得、管理をより容易に、効率的に行うためのソリューションを提供しています。弊社プロダクトレビューでは同社が提供する「Article Galaxy」と「Article Galaxy Scholar(AGS)」をご紹介します。

[Article Galaxy]

同社の主力製品である Article Galaxy のフィルター機能は、利用者が発注する際、オープンアクセスや購読ジャーナル、機関で購入しているトークンなど、組織内で利用可能な資源やレンタルによる入手の可否をチェックします。事前に発注すべき資料かどうかを確認し、もっともコストを抑えた入手手段を提示します。また検索機能を担う Article Galaxy Search は、「Scite」との機能統合により、検索対象が従来の Crossref DOI や PubMed ID を持つドキュメントから、さらに出版社のフルテキストや引用文などを含むコンテンツまで大きくカバー範囲が拡大しています。

Article Galaxy プラットフォームには文献や書誌情報の管理機能である「References」が付属し、Article Galaxy 内で購入した文献の管理だけでなく、さまざまなフォーマットのファイル添付機能やアノテーション機能、データベースの更新情報を自動収集する RSS フィード機能を提供します。これらの機能により、Article Galaxy プラットフォーム上で組織内での文献の発見から取得、管理までをより効率的に行うことができます。

直近では、特定の条件の下、AI による文献の要約、分析などを行うための権利を購入することができるアドオン機能「AI Rights」や、生成 AI ツール上での一貫した操作を実現する「Article Galaxy MCP」がリリースされ、組織内での文献にかかわる AI 利用をサポートする機能の提供を開始しました。

[Article Galaxy Scholar (AGS)]

大学向けに開発された Article Galaxy Scholar（以下、AGS）は、図書館が導入しているリンクリゾルバーやディスカバリーサービスと連携し、利用者の文献検索の導線上から、機関で購読していない主要な学術出版社（約 80 社）が提供するジャーナルの論文を購読誌と変わらないスピード感で利用者に提供するサービスです。

AGS は購読に代わる手段として、利用者によるスムーズな論文入手を支援する一方、図書館は管理者向けツールから利用者やジャーナル単位で論文の購入上限数を設定することができ、毎月の購入状況から購入上限数を調整することで予算管理を容易にします。